

**横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会
審査結果報告書**

1. 横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会の設置

公立保育所の民営化法人候補者を厳正かつ公正に選定するため、横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会（以下「選定委員会」という。）を設置した。

なお、選定委員会の構成は次のとおり。

委員長	藤本 和宏	（副市長）	
副委員長	B委員	（南教育事務所 総務・幼保推進班 副主幹）	
委員	C委員	（南教育事務所 幼保指導員）	
委員	D委員	（税理士）	
委員	E委員	（川西保育所保護者会 会長）	※川西のみ審査
委員	F委員	（十文字保育所父母の会 会長）	※十文字のみ審査
委員	佐越 和之	（健康福祉部長）	
委員	伊藤 勝	（まちづくり推進部大森地域局長）	※川西のみ審査
委員	和泉 久夫	（まちづくり推進部十文字地域局長）	※十文字のみ審査

2. 選定委員会の開催（全2回）

回	開催年月日	内 容
第1回	平成30年12月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・概要説明 ・審査基準及び評価方法について ・応募法人の運営する保育所の視察（大森保育園、相愛保育園）
第2回	平成31年2月8日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・審査基準及び評価方法の確認 ・応募法人によるプレゼンテーション及び審査 <ul style="list-style-type: none"> ①プレゼンテーション ②質疑応答 ③委員意見交換 ④評価

3. 応募状況

移管対象保育所	応募法人名（所在地）
川西保育所	社会福祉法人 大森保育園 （横手市大森町字大森 293 番地の 1）
十文字保育所	社会福祉法人 相和会 （横手市上境字館 133 番地の 5）
	A法人

※次順位以下の法人については、不利益情報非開示の観点から具体の法人名は非公表とする。

4. 審査方法

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会実施要領に基づき、応募法人からの提出資料と事業提案説明（プレゼンテーション）について、次の審査項目・評価基準に基づき審査した。

【評価項目及び配点】

着 眼 点	配点
項目 1 法人及び保育所運営について	45
(1) 移管保育所を運営するにふさわしい応募動機を有しているか。	10
(2) 法人の運営は、社会福祉の理念に沿っているか。	5
(3) 法人の沿革や理事会等の体制は、良好な保育所運営を期待できるか。	5
(4) 職員の労務管理は適切であるか。	10
(5) 安定的な経営を行うための財政的余裕があるか。	15
項目 2 保育所の運営状況について	15
(1) 保護者に対して、保育理念や目標等が情報共有できているか。	5
(2) 過去3年の行政指導監査において、重大な指摘事項がなかったか、また、指摘事項についての適切な改善が行われているか。	5
(3) 職員の配置や職務分担はバランスの取れたものになっているか。	5
項目 3 移管保育所の設置・運営について	140
(1) 保育理念や目標、基本方針、保育の姿が子どもを主体としたものになっているか。	10
(2) 職員の資質を向上させるための研修機会等は十分であるか。	10
(3) 児童の健康管理に対する配慮は適切か。	5
(4) 児童の発育や健康状態に応じた給食や食育への考え方は十分かつ適切か。また、アレルギー児等配慮を要する児童に対し適切に対応可能な体制があるか。	5
(5) 障がいがある等の特別な支援を要する子どもの保育について十分に理解があり、対応が適切か。	10
(6) 衛生管理、安全管理の考え方は十分かつ適切か。	5
(7) 保護者との連携、連絡体制は適切か。	5
(8) 地域住民との交流や行事参加、地域貢献、公共機関等との連携について積極的に取り組むものになっているか。	5
(9) 虐待等が疑われる子どもの早期発見と適切な対応を行うものになっているか。	5
(10) 緊急時の危機管理に関するマニュアルを整備し、訓練体制を確立している。	5
(11) 要望・苦情等に対する処理体制の取組は評価できるか。	5
(12) 職員の処遇や雇用形態、継続的な雇用に関する考え方は適切か。	10
(13) 施設長及び主任保育士の保育所等における経験年数は十分か。	5
(14) 特別保育事業に積極的に取り組むものになっているか。また、必要性を理解し、具体的な方向性を持っているか。	10
(15) 園解放、子育て相談等地域の子育て支援に積極的に取り組むものになっているか。	5
(16) 引継保育に対する考え方や対応は適切か。	10
(17) 移管保育所に勤務している臨時保育士等について、積極的に正規（常用雇用）職員に採用する職員配置計画となっているか。	10
(18) 収支予算計画は適切であり、良好な施設運営が見込まれるか。	10
(19) 移管保育所の施設の適切な維持管理、老朽化対策が示されているか。また、将来的な施設整備のための自己資金確保の見込みはあるか。	10
評 価 点 合 計	200

【得点化方法及び総合評価点の算出方法】

■得点化方法

評価基準		評価	得点化基準
非常に優れている	「市が求める基準」全てに該当し、「さらに評価する事項」全てに該当する	A	配点 × 1.00
優れている	「市が求める基準」全てに該当し、「さらに評価する事項」がある	B	配点 × 0.75
適切である (市が求める基準を満たしている)	「市が求める基準」全てに該当する	C	配点 × 0.50
やや劣る	「市が求める基準」のいずれかに該当しない	D	配点 × 0.25
劣るまたは該当なし	「市が求める基準」に全く該当しない	E	配点 × 0.00

※1 項目2について、保育所以外の認定こども園または特定地域型保育事業を現に運営している場合は上記得点化基準に0.9を乗ずるものとし、その他の施設を運営している場合はE評価（該当なし）とする。

※2 C評価は概ね認可保育所の設置・運営基準を満たすものであり、適切な保育を行うことが可能と判断されるものである。

■評価のための基準の設定

「市が求める基準」を明確化するため、関係法令や基準、保育所保育指針等を根拠として、保育所を運営するにあたり満たすべき事項、及びさらに評価に値し加点すべき事項を設定し、これに基づき選定委員が審査を実施することとした。

■総合評価点の算出方法

- ①審査項目1～3ごとに各委員の評価点の平均点を算出する。なお、平均点の算出時には、最高得点及び最低得点の委員2名の評価点を除外する。
- ②審査項目1～3ごとの平均点の合計を総合評価点とする。

【候補者の選定】

- ①総合評価点に基づき応募者の順位を決定し、第1位から順に優先交渉相手とする。なお、総合評価点が200点満点中100点未満の場合は、市が求める基準を満たしていないものとして、候補者から除く。
- ②全ての応募者が総合評価点100点未満の場合は候補者なしとする。

5. 審査結果

審査結果は次のとおりとなった。

移管対象保育所	順位	応募法人名	総合評価点	審査結果
川西保育所	—	社会福祉法人 大森保育園	129.05	合格
十文字保育所	第1位	社会福祉法人 相和会	142.48	合格
	第2位	A法人	115.61	合格

※第2回選定委員会当日、委員1名（C委員）が欠席となったため、川西保育所、十文字保育所ともに6名の委員により審査を行った。

移管対象保育所	審査委員
川西保育所	B委員、D委員、E委員、藤本委員、佐越委員、伊藤委員 計6名
十文字保育所	B委員、D委員、F委員、藤本委員、佐越委員、和泉委員 計6名

【各応募法人の評価内訳】

■社会福祉法人 大森保育園

項目	配点	平均点
1 法人及び保育所運営について	45	29.68
2 保育所の運営状況について	15	10.31
3 移管保育所の設置・運営について	140	89.06
総合評価点	200	129.05

■社会福祉法人 相和会

項目	配点	平均点
1 法人及び保育所運営について	45	32.18
2 保育所の運営状況について	15	10.62
3 移管保育所の設置・運営について	140	99.68
総合評価点	200	142.48

■A法人

項目	配点	平均点
1 法人及び保育所運営について	45	27.18
2 保育所の運営状況について	15	0.00
3 移管保育所の設置・運営について	140	88.43
総合評価点	200	115.61

※ 「2 保育所の運営状況について」の平均点は、前記【得点化方法及び総合評価点の算出方法】の得点化方法の※1に基づきE評価（0点）となった。

【選定委員の主な意見】

■社会福祉法人 大森保育園

- ・1 法人1施設の経営から複数施設の経営になるが、運営上特に大きく変化することはないので、その点で不安はない。
- ・法人の経理上、平成28年の白山保育所との統合効果が出ていない。今後、複数施設になり規模が大きくなると、利用定員の引き下げ等をタイムリーに行うことにより、随時経営見直しをしていくことが求められる。

■社会福祉法人 相和会

- ・児童の安全確保のための各種マニュアル等について、随時見直しをしながら運用・対応しており、安心できる。
- ・経営状況、事業計画は万全であり全く問題はない。拠点ごとの経理は現在もネットワークを使用して行っており、不安はない。
- ・職員確保の方策について、現在もテレビCMやユーチューブ、SNS等の様々な手段を活用して人材を求めており、非常勤職員の継続雇用で不足する部分を確保できる見通しがある。

■A法人

- ・保育所等を経営した経験がない点はそれほど問題ないが、計画どおりに保育士を確保することができるか等、運営上のより具体的な計画があればいい。
- ・3年連続して損失を計上しているが、平成30年度は資金繰りも好転しているとのことで、今後、法人の経営が安定すれば問題はない。

6. 総括

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会設置要綱第2条第2号に基づく審査の結果、川西保育所については、社会福祉法人 大森保育園を民営化法人候補者として選定する。

また、十文字保育所については、優先交渉順に社会福祉法人 相和会を第1位、A法人を第2位とし、民営化法人候補者として選定する。

なお、審査結果は、要綱第8条に基づき市の担当窓口及びホームページにおいて公表する。

以上、報告します。

平成31年2月8日

横手市長 高橋 大 様

横手市公立保育所民営化法人候補者選定委員会
委員長 藤本 和宏